



6 軸ジャイロ搭載ポケットカメラ

DGP-GPC01

取扱説明書

ご使用の前に

本製品を正しくご使用していただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は大切に保管し、わからないことや不具合が生じたときにお役立てください。

- 本書の内容を無断で転載や複製をしないでください。
- 記載の外観および仕様は改良のため予告なく変更することがあります。
- 本書記載の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 当社では常に製品の品質改善を行っており、お客様のご購入時期によりましては同一製品の中にも多少の差があるものがございましてご了承ください。
- 本書の内容につきましては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書記載の社名および製品名は各社の商標または登録商標です。

目次

はじめに	4	Wi-Fi 接続	27
セット内容	4	Wi-Fiをオンにする	27
安全上のご注意	5	アプリとの連携	28
警告	5	アプリのインストール方法	28
注意	8	アプリの連携方法	29
使用上のご注意	11	パソコンとの接続	30
電波法/電気通信事業法に関するご注意	11	パソコンと接続する	30
電波干渉に関するご注意	11	メニュー画面	31
電波障害に関するご注意	11	メニュー画面の説明	31
お手入れに関して	11	モード選択	32
結露(つゆ付き)に関して	12	再生メニュー	33
廃棄について(リサイクル)	12	設定	34
各部名称	13	戻る	38
充電	14	トラブルシューティング	39
充電する	14	主な仕様	41
電源	16	アフターサービス	43
電源オン	16		
電源オフ	16		
microSDカード	17		
microSDカードを挿入する	17		
microSDカードのフォーマット	18		
基本操作	20		
レンズの回転	20		
固定クリップ、固定バンドの使用法	21		
静止画/動画の撮影と再生	23		
静止画を撮影する	23		
動画を撮影する	24		
ズームイン/ズームアウト	25		
撮影した静止画/動画の再生	26		

はじめに

お使いになる前に必ずお読みください。

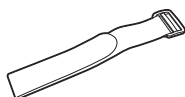
セット内容

本製品のパッケージ内には以下のセット内容が含まれます。ご確認ください。

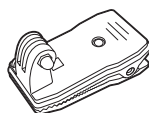
本体



固定バンド



固定クリップ



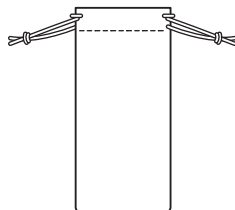
アダプター



ネジ



キャリングポーチ



USBケーブル

スタートガイド
(本書、保証書添付)

イラストと実際の形状は、変更になるなど、若干異なる場合があります。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

次の警告表示は、注意事項を守らなかった場合に起こりうる事故の程度を表します。



警告

取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(※1)を負うことが想定されるもの



注意

取り扱いを誤った場合、使用者が傷害(※2)を負うことが想定されるもの、または物的損害(※3)の発生が想定されるもの

※1: 重傷とは、失明やケガ、火傷(高温・低温)、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期にわたる通院を要するものを指します。

※2: 傷害とは、治療に入院や長期にわたる通院を要さないケガや火傷、感電などを指します。

※3: 物的損害とは、家屋、家財、および家畜やペットなどにかかわる拡大損害を指します。

次の記号は、その注意事項の内容を表します。



禁止

禁止
(してはいけないこと)



水ぬれ
禁止

水がかかる場所
で使用したり、水
にぬらしたりして
はいけないこと



ぬれ手
禁止

ぬれた手でさわ
らないこと



分解禁止

分解しないこと



指示

指示を守ること
(必ずしなければ
ならないこと)



電源プラグ
を抜く

電源プラグを抜
くこと



警告



指示

○下記の問題が発生した場合は、ただちにAC電源アダプターを外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因になります。

- ・使用中・保管時に、発煙・異臭・異音などが発生した場合
- ・本製品内部に水や異物が入った場合
- ・本製品を落とした場合
- ・本製品が破損した場合

○ケーブルが傷んだり、AC電源アダプターが異常に熱くなった場合は、ただちに本体の電源をオフにし、接続を外してください。そのまま使用すると、火災や感電などの原因になります。

上記の問題が発生した場合は、電源を切って、サポート窓口にご連絡ください。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

警告



ぬれ手
禁止

- ぬれた手でさわらないでください。感電の原因になります。



分解禁止

- 修理、改造、分解をしないでください。火災や感電の原因になります。



水ぬれ
禁止

- 本体内部に水が入ったり、ぬれたりしないようご注意ください。火災・感電の原因になります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。
- 風呂場、シャワー室等では使用しないでください。感電や回路のショートなどによる火災や故障の原因になります。



禁止

- 本体内部に異物を入れたり、端子部に接触させたりしないでください。
- 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入ったり、端子部に接触したりした場合、火災や感電などの原因になります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

- テーブルクロスやカーテンなどを掛けしないでください。
- じゅうたんやふとんの上に置かないでください。



禁止

- 本製品を火中や水中に投入したり、加熱したりしないでください。発熱、発火により、大ケガや火災の原因になります。



禁止

- ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないでください。本体が落下してケガの原因になります。



禁止

- 梱包で使用しているビニール袋は乳幼児の手の届く所に置かないでください。鼻や口をふさいで窒息するなど、けがの原因となることがあります。



禁止

- 落としたり、投げたりして衝撃を与えないでください。本製品の故障の原因になります。



禁止

- ラジエーターやストーブなどの熱源の近くで使用しないでください。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

警告



指示

○静電気の発生しやすい場所で使用する場合は十分注意してください。本製品の故障や感電、火災の発生するおそれがあります。静電気防止マットなどを使用して静電気の発生を防ぐ措置をとるか、静電気の発生しやすい場所への設置を避けてください。



禁止

○ディスプレイが破損し、液漏れした場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。失明や皮膚に傷害を起こす原因になります。液晶が目や口に入った場合には、ただちにきれいな水で洗い流し、医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、ただちにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。



禁止

○下記の場所で充電・使用・放置しないでください。本製品の故障、感電、火災などの原因になります。また、部品の劣化や破損の原因になります。

- ・直射日光の当たる場所、ストーブのそば、炎天下の車内など、温度の高い場所
- ・高温多湿の環境、油煙、ホコリの多い場所
- ・押し入れや箱の中など、風通しの悪い場所

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

⚠ 注意



電源プラグ
を抜く

○本製品を使用しない際は、安全のためケーブルを抜いてください。万一故障してしまった場合、火災の原因となることがあります。



禁止

○本製品の上に物を載せたり、本来の目的以外に使用したりしないでください。ケガや故障の原因になります。



禁止

○ご使用になるとき本製品やケーブルなどを傷つけたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。火災や感電などの原因になる場合があります。



禁止

○本製品から異音が出た際は使用を中止してください。聴力に悪い影響を与えるおそれや、本製品の故障の原因となるおそれがあります。



禁止

○殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因になります。



指示

○本製品を長時間使用する場合、特に高温環境では熱くなることがありますので注意してください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となることがあります。



指示

○本製品を無理な体勢で取り扱うと、落下して本製品が故障するおそれがあるほか、ケガなどの原因となるおそれがあります。ご注意ください。



禁止

○ディスプレイの表面にあるパネルを無理にはがしたり傷つけたりしないでください。ディスプレイが破損したときに破片が飛散し、けがの原因となることがあります。



禁止

○本体を金属などでこすったり引っかいたりしないでください。傷つくことがあり故障や破損の原因になります。



指示

○本製品をお手入れする場合には接続しているものを全て取り外し、電源をオフにしてから行ってください。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

注意



禁止

- 本製品がデータの読み取りまたは書き込みを行っている間は、本製品を移動したり、パソコンから取り外したりしないでください。データや本製品の破損の原因となります。



指示

- 健康のために、以下のことを守ってください。体調に悪影響を及ぼす原因となることがあります。
 - ・連続して使用する場合は、1時間ごとに10分～15分の休憩を取り、目を休めてください。
 - ・新聞が楽に読める程度の明るさの場所で使用してください。（操作場所の明るさの目安:500ルクス）
 - ・画面からある程度の距離をとって使用してください。
 - ・明暗の差の大きい所では使用しないでください。
 - ・日光が画面に直接当たる所では使用しないでください。



指示

- 本製品を使用しているときに身体に疲労感、痛みなどを感じたときは、ただちに使用を中止してください。使用を中止しても疲労感、痛みなどが続く場合は、医師の診断を受けてください。
- お使いになる方によっては、ごくまれに、強い光の刺激を受けたり、点滅を繰り返す画面を見たりした際に、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合があります。このような経験のある方は、本製品を使用される前に必ず医師と相談してください。また本製品を使用しているときにこのような症状が起きたときは、ただちに使用を中止して医師の診断を受けてください。

安全上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

⚠ 注意



禁止

○本製品に磁気を帯びたものを近づけないでください。強い磁気を近づけると誤作動の原因になります。また、磁気カードなどを本製品に近づけないでください。キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



禁止

○ケーブルを抜き差しするときは、金属製のストラップなどの金属類を接触させないでください。火災や感電の原因になります。

○ケーブルを抜くときは、ケーブルを無理に引っ張らないでください。ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。

○電源プラグが傷んでいたり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しないでください。火災や感電の原因になります。



指示

○お手入れのときや長期間使用しないときは、ケーブルを抜いてください。火災や感電の原因になります。

○端子がうまく差し込めないときは、端子の形や向きを確認してから差し込んでください。無理に差し込むと故障や破損の原因になります。

○USBケーブルは、パソコンのUSBポートに直接接続してください。市販のUSBハブなどを使って接続すると、正しく動作しない原因になります。

○ケーブルを抜き差しする際は、端子部に負荷をかけないように注意してください。

○水などの液体が入った場合は、ただちにUSBケーブルを抜いてください。火災や感電の原因になります。

使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

電波法/電気通信事業法に関するご注意

- 改造された本製品は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法/電気通信事業法に抵触します。
- 本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などに関する規則、および電気通信事業法に基づく端末機器の技術適合認定などに関する規則を順守しており、その証として「技術マーク㊦」が本製品背面に記載されています。
- 本製品を分解して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効になった状態で使用すると、電波法および電気通信事業法に抵触しますので、絶対に使用されないようお願いいたします。

電波干渉に関するご注意

- 本製品の使用する周波数帯では電子レンジなどの産業、科学、医療機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局などが運用されています。本製品の使用前には、近くに上記に該当する「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。万が一、本製品と上記に該当するほかの無線局との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本製品の使用場所を変えるか、または本製品の使用を停止してください。

電波障害に関するご注意

- 本製品は一般的な屋内の環境で使用することを目的としていますが、本製品がラジオやテレビに近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
- 正しく取り扱っても、電波の状況によりラジオ、テレビの受信に影響を及ぼすことがあります。そのような場合は、以下にご注意ください。
 - ・本製品をラジオ、テレビから十分に離してください。

お手入れに関して

- 本体の汚れは柔らかい布で軽く拭き取ってください。
- 汚れがひどい場合は、布を水で薄めた中性洗剤に浸し、よく絞ってから拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジンやシンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

使用上のご注意

お使いになる前に必ずお読みください。

結露（つゆ付き）に関して

- 結露が発生した状態で本製品を使用すると、故障の原因となる場合があります。結露は以下の状況で発生する場合があります。
 - ・寒い場所から急に暖かい場所へ本製品を持ち込んだ時
 - ・暖房をつけ始めた場所や、エアコンなどの冷風が直接あたる場所で使用した時
 - ・冷房がついた部屋、車内などから急に温度、湿度の高いところへ移動して使用した時
 - ・湿気の多い場所で使用した時
- 結露が発生した場合は本製品をすぐに使用しないでください。本製品を2～3時間程度室温で放置し、付着した水滴がとれるまでお待ちください。

廃棄について(リサイクル)

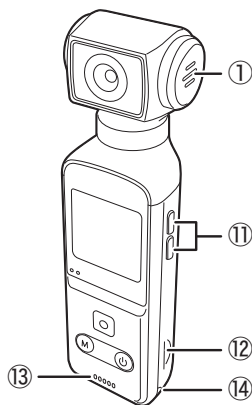
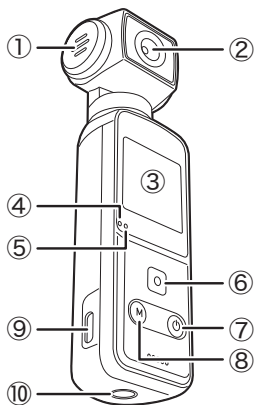
- 箱や緩衝材
パッケージの分別方法は地域によって異なります。お住いの市町村の指示に従って分別排出をしてください。識別マークは外箱に表示されています。
- 製品
本製品に内蔵されているリチウムイオン電池はリサイクルできます。使用しなくなった製品は、一般のごみと一緒に廃棄せず、付属品も含めてお住いの地域の自治体の条例または規則に従って処分してください。



Li-ion

各部名称

本製品の各部名称は以下のとおりです。



- ① スピーカー
- ② カメラレンズ
- ③ ディスプレイ
撮影中の画面や設定画面等が表示されます。タッチパネルではありません。
- ④ 電源LED
- ⑤ 充電LED
- ⑥ シャッターボタン
写真/動画を撮影します。また、メニュー項目を決定します。
- ⑦ 電源ボタン
長押しして電源をオン/オフします。また、短押しでモードを切り替えます。
- ⑧ メニューボタン
メニューを表示します。
- ⑨ USB Type-C端子
USBケーブル(付属品)を使用して充電したり、パソコンと通信したりします。
- ⑩ 三脚取り付け部
付属のアダプターや市販の三脚等を取り付けできます。
- ⑪ ▲ボタン/▼ボタン
撮影中にズームイン/ズームアウトします。また、メニュー項目を選択します。
- ⑫ microSDカードスロット
microSDカード(市販品)を挿入します。
- ⑬ マイク部
- ⑭ ストラップホール

充電

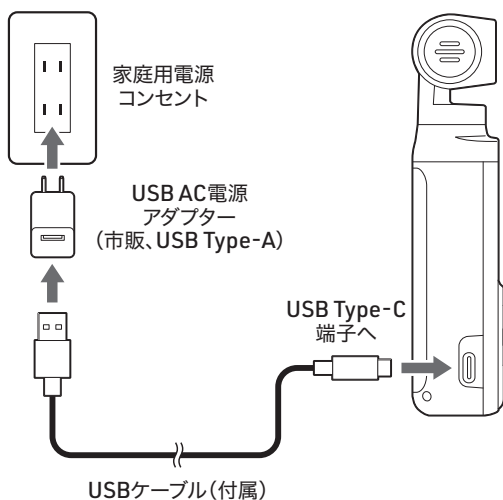
充電する

本製品付属のケーブルを使用した電源の接続方法について説明します。

AC電源アダプターから充電する場合

下記の手順で本製品を電源に接続します。

- ① 本製品付属のUSBケーブルの大きい端子を市販のUSB AC電源アダプター (5V/1A) に差し込み、電源プラグを家庭用電源コンセントに差し込みます。
- ② USBケーブルの小さい端子を本製品のUSB Type-Cポートに接続します。



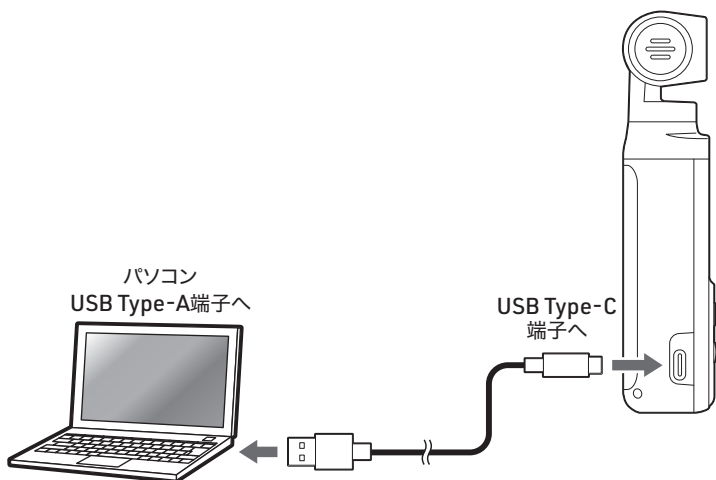
- 充電中は本体の充電LEDが赤色に点灯します。満充電になると消灯します。
- 本製品は、通電すると電源がオンになります。充電中に本製品の電源をオフにしても充電は継続されます。

充電

パソコンから充電する場合

下記の手順で本製品を電源に接続します。

- ① 本製品付属のUSBケーブルの大きい端子をパソコンのUSBポートに差し込みます。
- ② USBケーブルの小さい端子を本製品のUSB Type-Cポートに接続します。



- 充電中は本体の充電LEDが赤色に点灯します。満充電になると消灯します。
- 本製品は、通電すると電源がオンになります。充電中に本製品の電源をオフにしても充電は継続されます。
- パソコンに接続すると本製品のディスプレイにモード選択の画面が表示されます。必要に応じてモードを選択してください。詳しくは30ページを参照してください。

電源

電源オン

電源オフの状態、電源ボタンを約2秒間長押しすると、本体の電源LEDが青色に点灯し、電源がオンになります。本製品の電源がオンになり、しばらくすると起動音が鳴ります。その後からボタン操作が可能になります。

電源オフ

電源オンの状態で、電源ボタンを約2秒間長押しすると、電源がオフになり、本体の電源LEDが消灯します。

また、自動電源オフを設定している場合、電源オンの状態で一定時間が経過すると自動的に電源がオフになります。

microSDカード

microSDカードを挿入する

写真/動画を撮影する場合、市販のmicroSDカードを本体にセットする必要があります。

本製品の右側面にあるmicroSDカードスロットにmicroSDカードを挿入します。microSDカードのラベル面を本製品の背面側に向けてカチッと音がするまで挿入します。

- 本製品は、SD、SDHC、およびSDXCカードに対応しています。
- microSDカードを使用する場合、カードのフォーマット（初期化）が必要になる場合があります。フォーマットをするとmicroSDカード内に保存されていたデータはすべて削除されます。ご注意ください。microSDカードのフォーマットについて詳しくは18ページを参照してください。



microSDカード

microSDカードのフォーマット

本製品でmicroSDカードを使用する場合、microSDカードのフォーマット(初期化)が必要です。フォーマットを行うとmicroSDカード内のデータはすべて削除されます。データを削除したくない場合はあらかじめ他デバイスなどにバックアップしてください。


本体にmicroSDカードを挿入してフォーマット (初期化) する場合

- ① microSDカードが挿入されていることを確認し、本体の電源をオンにします。
- ② しばらくすると、本体ディスプレイにフォーマットを促す画面が表示されるので、「フォーマット」を選択します。

メニュー画面からフォーマットを選択して設定からフォーマットを行うこともできます。詳しくは19ページを参照してください。

microSDカード

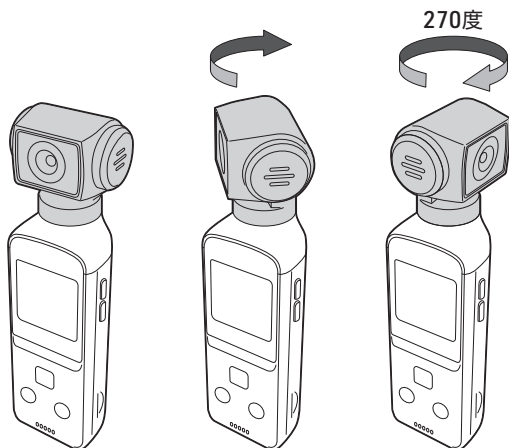
設定からmicroSDカードをフォーマット (初期化) する場合

- ① microSDカードが挿入されていることを確認し、本体の電源をオンにします。
- ② メニューボタンを押して設定画面から「設定」を選択します。
- ③ メニューボタンを何度か押して、本体設定「」に合わせ、右側面の▲/▼ボタンで「フォーマット」を選択します。
- ④ SDカード画面の「フォーマット」を選択して決定します。

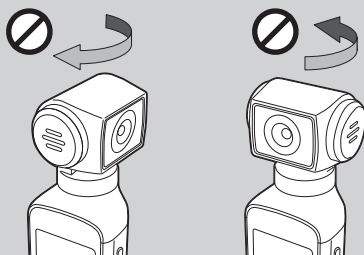
基本操作

レンズの回転

本製品のレンズ部は回転できます。レンズが正面を向いている状態で、上から見た時に時計回りに270度まで回転できます。



- 270度よりも回転させることはできません。
- レンズが正面にある状態で、上から見た時に反時計回りに回転させることはできません。
- 無理に回転させようとすると本体が破損する可能性があります。



基本操作

固定クリップ、固定バンドの使用法

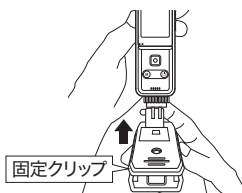
固定クリップの使用法

固定クリップを装着すると、リュックサックのベルトなどに固定しながら撮影することができます。

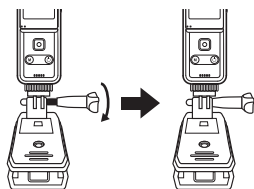
- ① 本体の下部にあるネジ部分にアダプターを装着し、固定します。



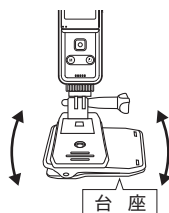
- ② 図のようにアダプターを固定クリップに差し込み、二つの穴が合うようにはめ込みます。



- ③ 穴にネジを差し込み、固定します。



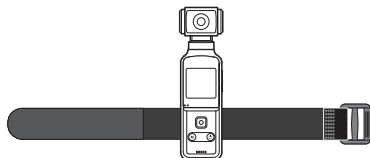
- ④ 撮影したい向きに合わせ、固定クリップの台座の上部を回転させます。



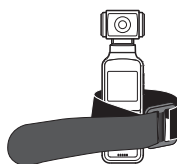
基本操作

固定バンドの使用法

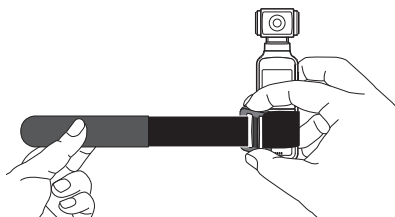
- ① 固定ベルトを広げ、バックル部分が右側に来るようにして、両面ファスナーのフック面が下に来るように置きます。



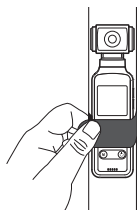
- ② 本体を固定ベルトの上に置き、固定ベルトの端をバックルに通します。



- ③ ベルトをしっかり締めます。



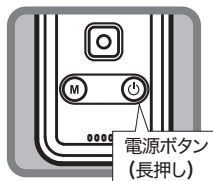
- ④ ベルトを時計回りに巻き、固定したい箇所に巻き付けて両面ファスナーで留めます。



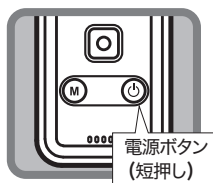
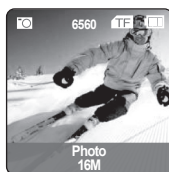
静止画/動画の撮影と再生

静止画を撮影する

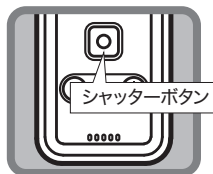
- ① 電源をオンにします。



- ② 電源ボタンを短押しして写真撮影モードにします。
撮影モードを選択する場合は、モード選択画面でPhoto、Auto、Burst、Timerの中からいずれかを選択します。



- ③ シャッターボタンを押して撮影します。

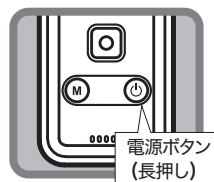


- 写真撮影モードについて詳しくは32ページを参照してください。
- Auto(自動間隔撮影)の場合、もう一度シャッターボタンを押すまで撮影が続きます。

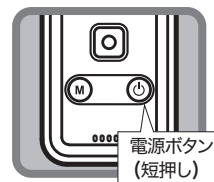
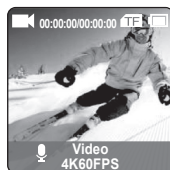
静止画/動画の撮影と再生

動画を撮影する

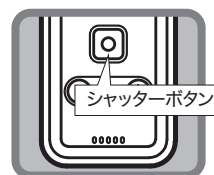
- ① 電源をオンにします。



- ② 電源ボタンを短押しして動画撮影モードにします。
撮影モードを選択する場合は、モード選択画面でVideo、Slow、Loop、Lapsの中からいずれかを選択します。



- ③ シャッターボタンを押して撮影を開始します。もう一度シャッターボタンを押して撮影を終了します。



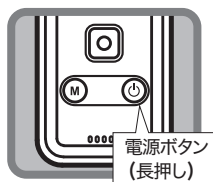
- 動画撮影モードについて詳しくは32ページを参照してください。
- 長時間の動画撮影を行う場合、14分ごとに動画ファイルが連続して保存されます。
- スロー撮影やタイムラプス撮影には音声は録音されませんので、あらかじめご了承ください。

静止画/動画の撮影と再生

ズームイン/ズームアウト

本製品で撮影するときに、ズームイン、ズームアウトができます。

- ① 電源をオンにします。



- ② 本体右側面の▲/▼ボタンを押してズームイン/ズームアウトします。



静止画/動画の撮影と再生

撮影した静止画/動画の再生

下記の手順で撮影した写真/動画を再生できます。

- ① メニュー画面で再生メニューを選択します。
- ② 表示したい写真/動画を▲ボタン/▼ボタンで選択します。動画を選択した場合はシャッターボタンを押すと再生が開始します。

メニュー画面について詳しくは31ページを参照してください。

Wi-Fi接続

Wi-Fiをオンにする

本製品のWi-Fiを利用して、スマホに入れたアプリと連携できます。

- ① 電源をオンにします。
- ② メニュー画面を表示し、設定メニューを選択します。
- ③ Wi-Fiを選択し、オンにします。

Wi-Fiがオンになると、本体のディスプレイにWi-Fiの情報が表示されます。

アプリとの連携

アプリのインストール方法

お使いのスマートフォンにアプリをインストールすると、アプリ上から本製品を操作できます。

下記QRコードから「XDV PRO」アプリをお使いのスマートフォンにインストールします。

APPストア (iOS)



Playストア (Android)



○本アプリのOS利用環境は以下の通りです。

iPhone : iOS 12.0以降

Android : Android 4.4以降

○本アプリは、「Appストア」、「Playストア」を通してインストールができます。

アプリとの連携

アプリの連携方法

アプリを使用するには、本製品とアプリをインストールしたスマートフォンをWi-Fi連携する必要があります。

- ① 本製品のWi-Fiをオンにします。Wi-Fiがオンになると、本体のディスプレイにWi-Fiの情報が表示されます。詳しくは27ページを参照してください。
- ② スマートフォンのWi-Fiに本製品のWi-Fi情報を設定します。
スマートフォンのWi-Fiの設定方法についてはお使いのスマートフォンの取扱説明書をご参照ください。

本製品のWi-Fiではネットワーク通信はできません。

- ③ アプリを起動し、「カメラを接続する」をタップします。
「接続に成功しました。」と表示され、カメラのメニュー画面が表示されたら成功です。
アプリからカメラの操作や撮影した写真や動画の確認、保存が可能です。

パソコンとの接続

パソコンと接続する

付属のUSBケーブルを使用してパソコンと接続すると、本製品の充電やデータのコピー、パソコン用カメラとして使用できます。

- ① 付属のUSBケーブルの小さい端子を本製品のUSB Type-Cポートに接続し、大きい端子をパソコンのUSBポートに接続します。
- ② 本製品の充電LEDが赤く光り、ディスプレイにUSB接続済画面が表示されるので、モードを選択します。

【充電モード】

本体を充電します。充電が完了すると充電LEDが消灯します。

【大容量保存モード】

パソコンと接続して本体のmicroSDカードに保存されているデータをパソコンに移動することができます。

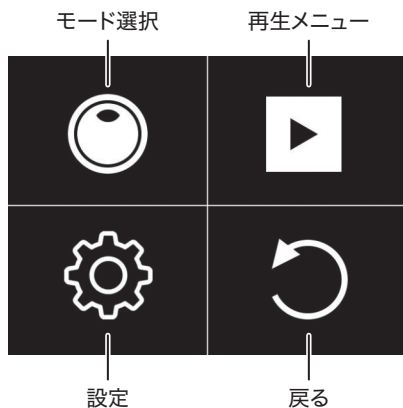
【撮影モード】

パソコンのカメラとして使用できます。

メニュー画面

メニュー画面の説明

メニューボタンを押すと、メニュー画面が表示されます。▲/▼ボタンでメニュー項目を選択肢、シャッターボタンで決定します。



メニュー画面

モード選択

メニュー画面からモード選択を選択してモード選択画面を表示します。モード選択画面では、写真と動画の撮影モードを選択できます。▲/▼ボタンでメニュー項目を選択し、シャッターボタンで決定します。



ビデオ撮影モード	Video	通常のビデオ撮影を行います。
	Slow	スロー撮影を行います。
	Loop	ループ撮影を行います。microSDカードの容量がなくなったら上書き保存を始めます。
	Lapse	タイムラプス撮影を行います。
写真撮影モード	Photo	通常の写真撮影を行います。
	Auto	設定した間隔で自動間隔撮影を行います。シャッターボタンを押すと、再度シャッターボタンを押すまで設定した間隔で写真を撮影します。
	Burst	連続撮影を行います。
	Timer	セルフタイマー撮影を行います。

メニュー画面

再生メニュー

メニュー画面から再生メニューを選択して再生メニュー画面を表示します。再生メニュー画面では、以下の操作ができます。

写真/動画の選択	再生メニュー画面で、▲/▼ボタンを押して写真もしくは動画を選択
動画の再生	動画を選択し、シャッターボタンを押すと動画が再生されます。 動画の再生中にシャッターボタンを押すと、再生を停止します。

メニュー画面

設定

メニュー画面から設定を選択して設定画面を表示します。設定画面では、解像度や歪み補正など撮影時の設定やWi-Fiや言語などといった本体の設定ができます。▲/▼ボタンで変更したい項目を選択します。

ビデオ設定

動画撮影画面でメニューボタンを押し、設定を選択します。ビデオ設定画面が表示されます。

ビデオ解像度	動画の解像度を設定します。
電子式手ブレ補正	手ブレ補正のオン/オフを設定します。「歪み補正」がオンの場合は手ブレ補正をオンにできません。また、選択している解像度によってはオンにできません。
歪み補正	歪み補正のオン/オフを設定します。「手ブレ補正」がオンの場合は、歪み補正をオンにできません。また、選択している解像度によってはオンにできません。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
露出設定	露出を設定します。
測光モード	測光モードを設定します。
シャープネス	シャープネスを設定します。
ビデオ画質	動画の画質を設定します。
ISO	ISO感度を設定します。
タイムスタンプ	動画にタイムスタンプを追加するかを設定します。
録音音声	音声録音のオン/オフを設定します。
Gyro calibration	ジャイロセンサーの調整や補正をします。

メニュー画面

静止画設定

静止画撮影画面でメニューボタンを押し、設定を選択します。静止画設定画面が表示されます。

解像度設定	静止画の解像度を設定します。
ホワイトバランス	ホワイトバランスを設定します。
露出設定	露出を設定します。
測光モード	測光モードを設定します。
シャープネス	シャープネスを設定します。
ISO	ISO感度を設定します。
タイムスタンプ	静止画にタイムスタンプを追加するかを設定します。

メニュー画面

本体設定

動画/静止画撮影画面でメニューボタンを押し、設定を選択します。再度メニューボタンを押しして本体設定を表示します。

画面回転	画面の上下反転を設定します。
Wi-Fi	Wi-Fiのオン/オフを設定します。オンになると、ディスプレイにWi-Fi情報が表示され、スマートフォンに入れた専用アプリと連携できます。本体右側面の▲ボタンを押ししてオン/オフの選択画面に戻ります。
Wi-Fi情報	Wi-Fi IDとパスワードを表示します。シャッターボタンを押しして本体設定画面に戻ります。
Wi-Fiリセット	Wi-Fiをリセットします。
光源周波数	光源周波数を設定します。
LEDインジケータ	電源LEDのオン/オフを設定します。
オートスクリーンセーバー	ディスプレイをオフにする時間を設定します。時間を長くするほどバッテリーの消耗が激しくなります。
マイクロフォン	外部マイクか内部マイクが設定します。
自動電源オフ	自動で電源がオフになる時間を設定します。
トーン設定	操作音の大きさを設定します。
言語	端末で表示する言語を設定します。
日付-時間	日付などの表記並びを設定します。
時刻の設定	時刻を設定します。
日付の設定	年月日を設定します。
フォーマット	microSDカードをフォーマットします。
機器情報	製品の型番やソフトウェアバージョンなどを表示します。
リセット	端末の設定をすべて初期設定にします。

メニュー画面

戻る

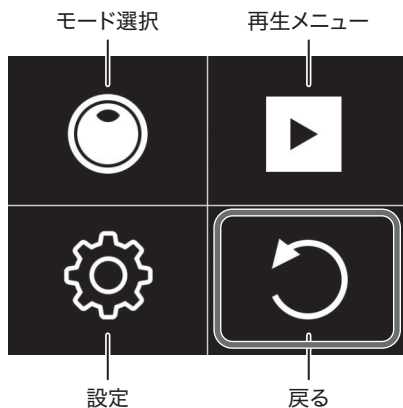
動画/静止画撮影画面でメニューボタンを押し、設定を選択します。メニューボタンを押し、「OKキーを押して終了する」を表示します。シャッターボタンを押して撮影画面に戻ります。

設定画面内で操作する時、電源ボタンを押しても撮影画面に戻ります。

メニュー画面

戻る

メニュー画面から戻るを選択して撮影画面に戻ります。



メニュー画面内で操作する時、メニューボタンを押しても撮影画面に戻ります。

トラブルシューティング

電源が入らない(ディスプレイがオフのまま)	<ul style="list-style-type: none">○電源ボタンを長押ししてください。短く押しただけでは起動しないことがあります。○電源をオンにする際は電源ボタンを2秒間長押ししてください。
動作が遅くなった	<ul style="list-style-type: none">○周辺が高温、低温の場所でお使いの場合、動作が遅くなる場合があります。できるだけ適正な周辺温度の場所でお使いください。
動作が不安定になった	<ul style="list-style-type: none">○静電気やノイズなどの影響により本製品の動作が不安定になった場合は、電源を入れ直すと改善される場合があります。
microSDカードが読み込まれない	<ul style="list-style-type: none">○microSDカードが正しく挿入されているか確認してください。○microSDカードの対応フォーマットはFAT32、exFATです。NTFSなどのフォーマットには対応していません。○18ページを参照して、microSDカードを本製品でフォーマットしてください。本製品でフォーマットできない場合、パソコンでmicroSDカードをフォーマットしてください。なお、microSDカードをフォーマットした場合、microSDカード上のすべてのファイルが削除されます。保存したいファイルは、microSDカードをフォーマットする前に、パソコンに保存してください。
撮影した映像/写真がぼやける	<ul style="list-style-type: none">○レンズに汚れが付着している場合があります。撮影前にレンズの汚れを取ってください。
電源が自動でオフになる	<ul style="list-style-type: none">○無操作時は3分後に自動的に電源がオフになります。時間を変更したい場合は、「メニューボタン」を押して、「設定」→「本体設定」→「自動電源オフ」で時間を変更してください。

トラブルシューティング

画面がすぐ消える/暗くなる	○オートスクリーンセーバーがオンの場合、電池の消費を抑えるため、設定した時間が経過すると画面が消灯します。画面消灯までの時間を変更したいときは、「設定」→「本体設定」→「オートスクリーンセーバー」で時間を変更してください。
ディスプレイがWi-Fi情報から変わらない	○Wi-Fiをオンにすると本体のディスプレイにWi-Fi情報が表示されたままになります。Wi-Fi情報から移動するには本体右側面にある「▲ボタン」を押してください。 ○Wi-Fi情報の項目を表示している場合、シャッターボタンを押すことで本体設定の画面に戻ります。
ディスプレイに映像が映らない	○Wi-Fi接続でスマートフォンのアプリと接続している場合、スマートフォンのアプリ上に映像が表示されます。ディスプレイにはWi-Fi情報が表示されます。 ○パソコンとUSB接続して「撮影モード」を選択した時、ディスプレイにはカメラのマークが表示されます。 ○長時間撮影時にオートスクリーンセーバーがオンの場合、ディスプレイが表示されていないことがあります。シャッターボタンを押すことで再度ディスプレイを表示できます。

主な仕様

イメージセンサー	1200万画素 CMOSセンサー
ディスプレイ	1.3インチ IPS液晶
スピーカー	内蔵 0.5W 8Ω × 1
マイク	内蔵 × 1
レンズ	広角 対角:159° 垂直:85° 水平:118°
動画解像度	4K (3,840 × 2,160) 60fps/30fps 2.7K (2,688 × 1,520) 30fps 1080P (1,920 × 1,080) 60fps/30fps 720P (1,280 × 720) 120fps/60fps/30fps
動画形式	MP4 (圧縮形式:H.264)
動画撮影モード	通常撮影、スロー撮影、ループ撮影、タイムラプス撮影
静止画解像度	16M (4,608 × 3,456) (補間) 13M (4,160 × 3,120) 8M (3,264 × 2,448)
画像形式	JPG
静止画撮影モード	通常撮影、自動撮影、連続撮影、セルフタイマー撮影
手ブレ補正	○ (4K30fps/2.7K30fps/1080P60fps/1080P30fps)
その他の機能	音声録音、歪み補正、上下反転モード、自動電源オフ、自動画面オフ、対応スマートフォンアプリからの操作
メニュー言語	日本語、英語、簡体中国語、繁体中国語、韓国語、ロシア語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語
対応SDカード	microSDカード (CLASS10以上、128GBまで)

主な仕様

インターフェース	USB Type-Cポート(充電、データ通信、PCカメラ)・microSDカードスロット
バッテリー	内蔵型リチウムイオン充電電池(1000mAh/3.5V) 連続使用可能時間:約90分(4K/30fpsで使用した場合) 充電時間:約2時間(5V/1AのAC電源アダプターの場合) ※使用状況や環境により変化する場合があります。
使用環境	温度: -20°C ~ 60°C・湿度: 最大80%(結露なきこと)
外形寸法	(W)約33.5 × (D)28.5 × (H)125.5 mm (突起部除く)
質量	約70g

■本製品の仕様は都合により記載内容を予告なく変更することがあります。

あらかじめご了承ください。

■すべてのデータは当社測定条件によります。

○動画の最大コマ数は状況により変動します。

○ファイルの種類/記録データ/設定/サイズ/形式/記録状態などによっては、操作・再生など行えない場合があります。

○microSDカード・AC電源アダプターは別売となります。

■記載の社名および製品名は、各社の商標または登録商標です。

■液晶画面について

以降の内容は、液晶画面の特性によるもので、故障ではありません。

○一部に常時点灯、または常時点灯しない画素が存在する場合があります。

○明るさにむらが生じる場合があります。

○太陽光、ライトなどが当たると画面が見えにくくなります。

アフターサービス

保証書について

- 保証書は本製品に同梱されている「スタートガイド」内にあります。
- 保証書は再発行いたしませんので、大切に保管ください。
- 保証規定は、保証書に記載されておりますので、よくお読みください。

修理をご依頼の際は

- お問い合わせいただく前に、本取扱説明書の「トラブルシューティング」のページをよくお読みください。
- 取扱説明書の内容をご確認いただき、故障が疑われる場合には、サポート窓口にお問い合わせください。

製品に関するお問い合わせ先

サポートセンター

Eメールアドレス : support@digiplus.online

- 年末年始などのサポートセンターの休業日には、お客様への対応ができない場合がございます。あらかじめご了承ください。
- 本製品に関するお問い合わせ、サポート、サービスについては、日本国内限定にさせていただきます。

チャットサポートを利用したFAQも
ご利用いただけます。

{チャットサポート URL}
<https://digiplus.online/chatsupport.html>

チャットサポートQRコード



FAQで解決できない場合は、チャットサポート内で有人対応もしています。
有人対応受付時間 10:00~12:00、13:00~17:00
(土、日、祝祭日および当社規定休業日を除く)

DIGI+

DGP-GPC01